

新型コロナウイルス感染時対応

迷わないために

カシオ労連本部

何らかの症状 が出た場合

- かかりつけ医がいる場合は、そちらを受診
- いない場合は、「発熱相談センター」に電話をして、最寄りの医療機関を教えてもらって受診
- ただし、「発熱相談センター」は現状なかなか繋がらない状態
- この時点では保健所に連絡しても医療機関を受診しろとしか言われない
- 症状について、発熱が一番だが、オミクロン株では発熱がない場合もあるため、風邪の諸症状でも感染の可能性はある
- 念のため同居の家族とは接触しないことが望ましい
- 洗面所や便所、食事などを別々にして、風呂は最後に入り、清掃し、窓を開ける
- 東京都発熱相談センター(03-5320-4592)

症状はないが 検査をしたい 場合

- 帰省やイベントへの参加など、感染させたくない人と会う場合、無料のPCR検査を受けることができる
- 前日までの事前予約も可能だが、少し並べば当日飛び込みでも検査が可能
- 症状が何もない方が対象なので、何らかの症状がある場合は医療機関を受診する
- COCOAからの通知を受けた場合は、発熱相談センターに連絡する
- 東京都の無料検査事業(<https://tokyo-kensasuishin.jp/>)

検査結果が 陽性となった 場合

- 無料のPCR検査で陽性となった場合は、自ら医療機関を受診する必要がある(何らかの症状が出た場合の行動をする)
- 医療機関で陽性が確定すると、療養が始まる
- 療養方法については症状によって異なり(自宅、宿泊、入院)、医療機関と保健所から指示がなされる
- 軽症の場合の療養期間は症状が出てから10日間(10日分の症状を緩和する薬が処方される(無料))
- COCOA登録をしている場合は陽性者登録を行う
- 後日保健所から確認の電話が入るが、感染者が激増しているため、2日後となる場合もある
- 確認内容は、現在の症状、療養期間、パルスオキシメーターの貸し出し、支援物資の送付について、行動履歴や濃厚接触者の確認は行われなかった。状況ひっ迫のため？
- 同居の家族は濃厚接触者となるが、受診は何らかの症状が出た場合でよいとのこと

濃厚接触者について

- 濃厚接触者の定義は、「感染者の発症日の2日前から、診断後に隔離開始されるまでの間に、患者と同居あるいは長時間の接触があった、もしくはマスクなどの必要な感染予防策なしで、15分以上の接触(1メートル以内)があった、もしくは看護介護、唾液や排せつ物に触れた方」となる
- マスクをして短時間話した程度は含まれない
- 最終的な判断は保健所が行うことになっている
- 濃厚接触者となったら、10日間(現在7日間に短縮される動きあり)の外出自粛となる
- カシオグループでは、子どもが通う学校が休校になった場合は、申請すれば特別休暇が支給される
- 家族が濃厚接触者となった場合、外出自粛期間は在宅勤務となるが、在宅勤務ができない場合は、入社禁止となるので特別休暇が支給される

行動を迷わないために

- 感染者の増加によって状況はどんどん変わってきている
- 医療機関や保健所の対応もひっ迫してきており、検査に要する期間も長くなっている
- 行動をためらうことによって、周りの大切な人たちを感染させてしまうことがあることを念頭に
- 風邪程度の症状でも、在宅勤務、医療機関受診を行う
- 「発熱相談センター」の電話が繋がらない場合は、下記東京都福祉保健局のホームページに記載されている「診療・検査医療機関の一覧」から最寄りの医療機関を探す
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryo/kansen/corona_portal/soudan/coronasodan.html